

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| 協議会議事要点録 | | | | |
|----------|----------------------------|-------------------|---------------------|---------------|
| 会議名 | 平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会 | | | |
| 日時 | 平成30年3月22日（木）13時30分～14時40分 | | | |
| 場所 | 江田島市役所4階会議室 | | | |
| 傍聴者 | 4名 | | | |
| 出席者 | 県立広島大学 | 名誉教授 | のほら けんいち 野原 建一 | ○ |
| | 広島商船高等専門学校 | 教授 | おかやま まさと 岡山 正人 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 代表取締役 | はすだ つとむ 蓮田 勉 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 従業員代表 | はたふじ ひでき 畠藤 秀樹 | ○ |
| | 広島県旅客船協会 | 会長 | にった いちろう 仁田 一郎 | 代理出席 上村 隆彦 |
| | 瀬戸内シーライン株式会社 | 船員代表 | たにぐち みのる 谷口 実 | ○ |
| | 広島県タクシー協会江能支部 | 支部長 | いまみや こうじ 今宮 浩二 | ○ |
| | 江田島市自治会連合会 | 会長 | はまなか しげみ 濱中 繁美 | ○ |
| | 江田島市老人クラブ連合会 | 会長 | ふるもと さねき 古本 眞機 | ○ |
| | 江田島市社会福祉協議会 | 会長 | どうの さき たいら 堂野崎 平 | ○ |
| | 江田島市女性会連合会 | 会長 | はままつ ゆきこ 濱松 由紀子 | ○ |
| | 江田島市観光協会 | 会長 | いとう ふみお 伊藤 富美雄 | ○ |
| | 中国運輸局 | 海事振興部旅客課長 | さこだ たけとし 迫田 武利 | 代理出席 武井 亜弥 |
| | 中国運輸局広島運輸支局 | 首席運輸企画専門官 | はしもと みちひさ 橋本 実千寿 | × |
| | 広島県 | 地域政策局 地域力創造課長 | きむら ひろし 木村 洋 | × |
| | 江田島警察署 | 地域交通課長 | やまぐち きよふみ 山口 清文 | 代理出席 堀田 真二 |
| | 江田島市 | 副市長 | どて さんせい 土手 三生 | ○ |
| | 江田島市 | 企画部長 | わたなべ たかひさ 渡辺 高久 | ○ |
| 江田島市 | 土木建築部長 | きむら なるひろ 木村 成弘 | 代理出席 木下 隆 | |
| 1 開 会 | | | | |
| 事務局 | 開会宣言 | | | |
| 2 会長あいさつ | | | | |
| 会 長 | 土手会長あいさつ | | | |

| | |
|-----------------------------------|---|
| 3 議 題 | |
| (1) 報告事項 | |
| ① 切串～天応航路のダイヤ及び運賃改定について（資料1） | |
| ② 公共交通マップの増刷について（資料2） | |
| ③ 広報えたじまへの連載記事について（資料3） | |
| 議 長 | (1) の報告事項から、事務局に説明していただきます。 まず、①切串～天応航路のダイヤ及び運賃改定について、②公共交通マップの増刷について、③広報えたじまへの連載記事について、一括して事務局に説明をよろしく願います。 |
| 事 務 局 | －資料1～3により説明－ |
| 議 長 | ただいまの事務局の報告につきまして、何か御質問、御意見ございましたら、よろしく願います。いかがでしょうか。 |
| 各 委 員 | (質問・意見等なし) |
| 議 長 | よろしゅうございますか。 それでは、御意見、御質問はございませんでしたので、次に移らせていただきます。 |
| ④ 中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリングについて（資料4） | |
| 議 長 | ④ 中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリングにつきまして、事務局からよろしく願います。 |
| 事 務 局 | －資料4により説明－ |
| 議 長 | ただいまの説明につきまして、御質問ないしは御意見いかがでしょうか。 |
| 委 員 | 確認なんですけど、指定管理者のモニタリングということなので、瀬戸内シーラインさんだけを評価するという意味合いでよろしいのでしょうか。 当時の考え方としては、船自体は公設民営で、資料には瀬戸内シーラインさんのことだけが載っているんですが、公設という部分の、いわゆるハード面といいますか、それは特にこの評価では土俵に載せなくて良いのでしょうか。 以前は市で全てやっていたが、運航をシーラインさんで、船の部分を市の方で、という形なので、お願いした方だけの評価というふうにとれるのですが。 あのときの線引きがどうだったか覚えていないのですが、例えばトイレの部分は、お願いした部分の範疇になるのか、それとも公設の部分で、市の予算でやったということになれば、若干評価が変わると思うのですが。 要するに、公設部分と運営部分と、合わせて移管した後の評価という見方の方が、市民にはわかりやすいと思うのですが。 |
| 事務局長 | モニタリングしているのは、あくまで指定管理の協定に出している部分だけです。適切に中町航路を運行してくださいということで、瀬戸内シーラインさんと市とで協定を結んでおりますので、そちらの運航について、適切に協定どおりやっていたかということ、モニタリングしたというのが、この資料になっております。 |

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>事務局長 (続き)</p> | <p>ハード面、船の船体の部分ですが、その改修については、日常の維持修繕にかかる部分は指定管理者さんでやって、本体を修繕しなければならない場合は市でやるということです。建物で言えば、大家さんと店子の関係に似たような感じでやっているのですが、今回総合評価で入れているトイレの改造などについては、こちらでやってくださいということではなく、シーラインさんで自主的に船体のこともやっていただいたということで、協定以上に取り組んでいただいたということで、載せております。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>ほかに何かお尋ねすべき点があればお願いします。 ごさいませんでしょうか。なければ、ただいまの中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリングにつきましては、委員の皆様で了解されたということで、取りまとめさせていただきます。</p> |
| <p>⑤ 国道487号交通量調査について（資料5）</p> | |
| <p>議 長</p> | <p>次に、⑤ 国道487号交通量調査につきまして、事務局から説明をよろしくお願ひします。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>－資料5により説明－</p> |
| <p>議 長</p> | <p>これにつきまして、何か御質問ないしは御意見がありましたら、よろしくお願ひします。 第2音戸大橋が開通して以降、市内航路事業者の自動車搬送数の影響を把握するための調査でございます。いかがでございましょうか。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>意見ではないのですが、17ページの人口推移のところの28年度の数字がおかしいのではないかと思います。高齢化率が48.7%で、29年度には43.9%に下がっています。この28年度が少しデータがおかしいのではないかと思います。 それと、音戸大橋を通り、早瀬大橋を通る車と、この島に入ってくるフェリー等を利用する車との、その関係というのは、あまり調査されていないのでしょうか。あまり関係はないのでしょうか。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>ありがとうございます。ちょっとここだけ数字が変わっておりますので、こちらはまた確認をさせていただきます。 もう1つ、フェリーとの関係というところまでは、今回の調査では、相関関係が確実にあるとまでは言い切れないと思いますし、そこまでの調査には言及していない状況です。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>よろしゅうございますか。特に高齢人口のことにつきましては、次回までに事務局の方で精査していただくということで、お願いしたいと思います。 ほかに何かございませんでしょうか。この第2音戸大橋ができて、交通量がどのように変化していったのかというのは、大変興味のある事柄でございます。全体にどのような影響を与えるのか、今後の調査を待ちたいと思います。 また、完全離島の場合とどう違うのかとか、いろんな疑問があろうかと思いますが、またよろしくお願ひします。 それでは、⑤ 国道487号交通量調査につきまして、これで終わらせていただきます。</p> |

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| | |
|----------------------------------|--|
| ⑥ 平成30年度江田島市当初予算について（資料6） | |
| 議 長 | 続きまして、⑥ 平成30年度江田島市当初予算につきまして、事務局から報告をお願いします。 |
| 事 務 局 | －資料6により説明－ |
| 議 長 | <p>それでは、平成30年度江田島市当初予算につきまして、何か御質問、御意見ございましたら、賜りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>交通魅力アップ事業補助金につきまして、様々な試みがなされております。こういった点を今後付け加えていけば良いのではないかというような御意見もございましたら、よろしくをお願いします。</p> |
| 各 委 員 | （質問・意見等なし） |
| 議 長 | <p>よろしゅうございますか。</p> <p>それでは、⑥ 平成30年度江田島市当初予算につきまして、事務局の説明どおりの報告にまとめたいと思います。</p> |
| （2）協議事項 | |
| ① 平成30年度事業計画及び歳入歳出予算(案)について（資料7） | |
| 議 長 | <p>(2)の協議事項に移らせていただきます。</p> <p>まず① 平成30年度事業計画及び歳入歳出予算(案)につきまして、事務局から説明をよろしくをお願いします。</p> |
| 事 務 局 | －資料7により説明－ |
| 議 長 | 平成30年度江田島市公共交通協議会の事業計画及び歳入歳出予算(案)につきまして、御質問、御意見賜りたいと思います。いかがでしょうか。 |
| 各 委 員 | （質問・意見等なし） |
| 議 長 | <p>ございませんでしょうか。</p> <p>なければ、皆さんからの御了承を得たということで、取りまとめさせていただきます。</p> |
| ② 海上交通の今後について（資料8） | |
| 議 長 | 次に、海上交通の今後について、事務局から御説明よろしくをお願いします。 |
| 事 務 局 | －資料8により説明－ |
| 議 長 | <p>ただいま海上交通の今後につきまして、御説明いただきました。</p> <p>今日は、代理で出席されている方がおられます。積極的に御意見賜りたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> |
| 委 員 | 三高～広島航路で、これは噂なんですけど、大須栈橋をまた復帰するという噂を、要望しているか何かで聞いたのですが、そういう話はあるのでしょうか。 |
| 事務局長 | <p>そういった要望が地元からあるということは、聞いたことがあります。</p> <p>実際どうなるかというのは、こちらで決めることではないというか、事業者さんの判断にはなるのですが、たぶんこれをやると、結構な経費がかかるんだろうなという想像はしています。</p> |

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| | |
|---------------------------|--|
| <p>委 員</p> | <p>公設民営化ということで、市からニュー千鳥、スーパー千鳥、ロイヤル千鳥を貸しているわけですが、ニュー千鳥とロイヤル千鳥はもう25年経つんですよね。耐用期間を過ぎています。これから何年経ったら新しくしなさいということはないのですが、例えば新船を造るとか、中古を買うとかというので、2隻一度にとというのは、ちょっと無理ではないかと思うのですが、1隻でも新船とか、もう何年経ったら中古でも用意していかなければという、市の方針はあるのでしょうか。</p> |
| <p>事務局長</p> | <p>今考えているのは、今の指定管理者の期間が5年で切れるようになります。次の指定管理者を選定する際に、どういった条件で走ってくださいという、協定の案を作ろうと思っていますが、最初に指定管理者の公募要項を作るときに、岡山の地域公共交通総合研究所というのがありまして、そこにどういった条件が適切か聞いた上で作っているというのがあります。</p> <p>次回、公募をかけるようになると思いますが、そのときにも公募条件を聞くので、それに合わせて船の状況はどうかというのも聞いてみたいと思います。</p> <p>そのときに、これはさすがに更新した方がいいだろうとか、千鳥3隻とも結構大きい船だと思いますが、このサイズで走らなくてもお客さんは十分回せるのではないかと、そういった意見もいただくかもしれません。</p> <p>そういったことで、専門の方から見て、更新が必要であるか、必要ならどんな船にすればいいかという御意見を聞いて、決めていきたいと思っています。</p> <p>平成13年から20年にかけて、エンジンの交換はやっていますので、すぐどころかなとは思っていないのですが、20年以上経過しているのは確かですので、次の指定管理者の公募条件を決めるときには、船の更新というのも真剣に考えていかなければいけないと思っています。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>中町～広島航路のことで、29年度の欄で海上ロッジが「休止」という表現になっています。そのうちここに宿泊施設が建設された場合、今の海上ロッジよりもたくさんお客さんが来られるようになると、「再開」ということで、復活するという意味を含めた理解でよろしいでしょうか。</p> <p>バスでも、切串や秋月は「休止」という表現にしています。実は「廃止」にすると、また許認可いただくのに大変な手間と経費がかかるので、「休止」の方が復活し易いかなという思いがあります。船はいかがでしょうか。</p> <p>バスも船も、活発にお客さんをどんどん運ぶようになれば良いと思いますので、「廃止」にならずに「休止」くらいで、復活していただければと思います。</p> |
| <p>オブザーバー (指定管理者)</p> | <p>今言われたとおりで、手続き上「休止」させていただいております。今後復活するときに「廃止」にすると、何かと面倒な面があります。</p> <p>復活する、しないに関しては、指定管理者という立場でございますので、市とよく相談させていただきます。島にお客さんに来ていただくというのが大前提です。前向きに検討させていただきたいと思っています。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>前向きに、ということで、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>ほかに何か御意見ございませんでしょうか。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>前回も今回も、宇品～小用の船に乗って、バスでこちらへ来たのですが、意外</p> |

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| | |
|--------------------|--|
| <p>委員 (続き)</p> | <p>と言ったら失礼ですが、結構お客さんが乗られているなという感じがありまして、まだ公共交通が元気なんだと感じております。</p> <p>人口減少というのはどこの島でも同じ問題を抱えているんですけども、その中で、資料3であったのですが、江田島市の広報誌で、住民の方に公共交通の現状や問題提起の記事を、定期的に載せて、しっかり公共交通を考えていこうと、住民を巻き込んだ取り組みをされているということで、非常に良い取り組みだと思えます。</p> <p>住民の皆さんも巻き込んでいかないと、やはり公共交通を維持していくのは難しいと思いますので、今後ともこういった取り組みを続けてもらいたいと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>公共交通の意義というものをもう一度見直しまして、住民の方々に御利用願うということで、それを推進していただきたいということでございました。</p> <p>ほかに何か御意見ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、海上交通の今後につきまして、今いただきました御意見等につきましては、また事務局の方で精査することがございましたら、また精査して、またこの公共交通協議会に報告をして、皆さんの御意見を伺いたいと思います。</p> |
| <p>4 その他</p> | |
| <p>議長</p> | <p>それでは4その他でございます。事務局から何かございましたら、よろしくお願ひします。</p> |
| <p>事務局長</p> | <p>事務的なことですが、1点目として次回の協議会でございます。次回は平成29年度の決算報告等が主な内容になってきますが、新年度に入って5月頃にこの会を開きたいと考えております。またお知らせいたしますので、よろしくお願ひします。</p> <p>また、4月に入りましたら、今回官公庁などで、委員の変更が起こっております。事務局の方から、委員の変更手続きということで確認させていただいたり、手続きをお願いしたりということで、させていただこうと思いますので、よろしくお願ひします。</p> |
| <p>議長</p> | <p>それでは最後に、岡山先生、何かお話はございませんでしょうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>大雑把な話しかないんですけども、国道487号線の交通量調査の17ページ、人口の推移があるのですが、非常に辛らつな数字が並んでおりまして、平成17年から29年の12年の間に、7千人くらい減っています。1年当たりだと6百人弱くらい減っているということですけども、このままいくと10年後、2万人を切りそうだということですよ。これだけの面積があつて2万人の規模だと、かなり人口がばらけているということを想像します。</p> <p>なおかつ、高齢化率が今44%くらいですけども、50%を超えることは恐らく必須であろうと想像します。</p> <p>そうすると、本当にその10年後のイメージというのを、どうやって持つていくのかというのは、非常に大変かなと、この数字を見ながらちょっとゾゾゾゾっとしました。非常にシビアかなと思います。</p> |

平成29年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成30年3月22日）

| | |
|---------------------|--|
| <p>委 員 (続き)</p> | <p>あるところまで人口が減っていくと、急速に減るところがどこかであるでしょうし、先ほどの高齢化率の話ではないですが、高齢化率が増えるということは、同時に年少人口が極端に減っていくということです。かなり大変なことになろうかと思います。その辺を、少しどこかで見据えた議論があるのかなと、この数字を見ながら勝手に思った次第です。</p> <p>大崎上島町が、私が行ったところは1万4千人いたのが、今では8千人を切っています。高齢化率もほぼ5割です。なんとなく島の方のイメージは、昔のまんまなんですね。島の中は閑散としはじめ、空き家がいっぱい増えているという状況になりながらも、なかなか起死回生のところを超えてしまっているのか分かりませんが、非常に大変な状況になっています。</p> <p>隣の島のことだと笑っている場合ではないと思ったので、10年後を少しイメージしながら、どうするかということを実際に考えなければならない数字なのかなというふうに思います。</p> |
| <p>議 長</p> | <p>とても貴重な意見で、私も17ページの人口推移というのは大変厳しく見ておりましたが、この数字の中で特に高齢人口の増え方というのはさほどでもないんですが、ここで気をつけておきたいのは、生産年齢人口がかなり減ってきています。ここの箇所をターゲットにして、もう少し増やすないしは横ばいにしていくような方向性を持たないと、この高齢人口だけではちょっと厳しいかなと思います。</p> <p>それと、年少人口というのは、そんなに減っていません。年少人口というのは、大崎上島町にもありますように、新しい学校ができればそれなりに若い人たちが来るんですけども、県立大学もそうなんですが、学問を終えるとさっさと出て行ってしまいうんですよね。これが1つの課題なんですね。</p> <p>要するに、生産年齢人口に魅力のある地域にしていく必要がある。それはこの江田島市の場合も、大きな課題だろうと思います。この生産年齢人口をどう魅力的にしていくのか、そしてこの地域で、どう生産年齢人口を集めていくのか、とどめさせていくのか、学校を終えてもなおその地域に定着できるのか、これがその大きな課題になるのではなかろうかと思いますので、また皆さんと一緒に議論し、考えていきたいと思っています。</p> |
| <p>5 閉 会</p> | |
| <p>議 長</p> | <p>それでは、長時間お忙しいところ御出席賜りまして、また御意見いただきまして、ありがとうございました。それでは本日の第3回の協議会、これにて終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> |